

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	インスリン分泌システムの形成機構とその破綻
研究代表者名 (所属・職)	清野 進（神戸大学・大学院医学研究科・特命教授）

【評価意見】

研究代表者は「インスリン分泌システムの形成機構とその破綻」に関する特別推進研究を平成15～19年度にわたって実施した。

本研究は糖尿病の病因に関する研究代表者の長年の研究成果を基盤に実施した研究であり、研究期間中は良好な成果を上げ、PNASなどの国際一流誌に論文を発表した。その後の5年間は、特別推進研究で得られた成果を発展させ、Rim2 α のインスリンをはじめとした種々のホルモンの分泌にかかる役割を明らかにした。

また、cAMPセンサーであるEpac2が世界で広く用いられている血糖降下薬SU薬の標的であることを明らかにした。これらの成果をもとに、特別推進研究終了後もScienceやCell Metabolism（2報）に論文を発表するなど、順調に研究を発展させている。

研究代表者の研究成果は糖尿病の病因解明と治療法の開発に密接に関わるもので研究成果の社会へのインパクトは大きく、マスコミにも研究成果が定期的に取り上げられている。

以上により、研究代表者は当該研究の終了後も順調に研究を発展させていると評価できる。